

崎津資料館みなと屋の最新NEWS

① 今富の天使像「ウマンテラさま」を展示中

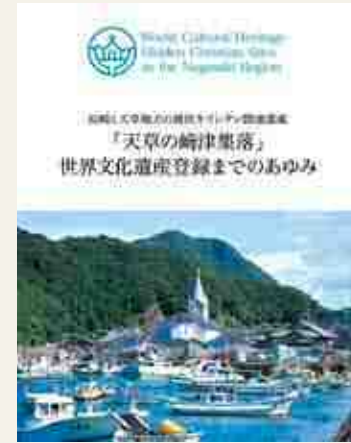
ウマンテラさまは崎津村と同じく  
潜伏キリシタンの集落である今富村  
で信仰の対象だったとされる石像。  
江戸時代に製作されたと考えられて  
おり、坊主頭で背中には翼が生え、  
剣を持つ姿は西洋の天使像と似た特  
徴をもつ珍しいものです。天草のキ  
リシタン遺物などを展示するサンタ  
マリア館（有明町）に展示されてい  
ましたが、平成29年の閉館に伴い市  
へ寄贈されました。



潜伏キリシタンの歴史を物語る貴  
重な文化財です。この機会にぜひみ  
なと屋でご覧ください！

② 「天草の崎津集落」世界文化遺産登録までのあゆみを販売

崎津集落が世界文化遺産の構成資  
産として認められ、登録に至るまで  
の活動の軌跡を綴った記念誌を作成  
しました。12の構成資産の紹介や当  
時の熊本日日新聞社の記事、歴代の  
富津地区振興会長など登録にご尽力



いただいた人たちのインタビュ  
などを掲載。登録されたときの感動を  
思い起こしてみませんか。  
250冊を1部500円（税込）  
で販売。お早めにお買い求めくださ  
い。郵便為替での郵送販売も対応し  
ています。詳細は

市ホームページま  
たはみなと屋へお  
問い合わせくださ  
い。  
崎津資料館  
みなと屋  
☎75-9911

キラリ  
天草人

ひま陣会（新和町）

☎ひま陣工房事務局  
（碓石地区振興会内）  
☎46-2448



木炭づくりの楽しさを後世へ教えない

昭和47年ごろまで新和町碓石地区の  
主な産業だったという「木炭作り」。  
今はその技術を知る人も少なくなっ  
ている。  
そんな木炭作りの技術を守っていこ  
うと同地区の有志で結成されたのが  
「ひま陣会」。この名前には、「暇を作  
って活動し、地域づくりの中心になろ  
う」という思いが込められている。樫の  
木などから木炭を作るのが主な活動  
だ。

「木ば切つとが大変やっかな」と話  
すのは代表の新木富雄さん。材料に使  
う木はメンバー自らが2日間かけて伐  
採する。約300キロの量を、お手製  
の窯「ひま陣工房」で焼いていく。窯  
の中は、約800度まで上がり、1週  
間をかけてゆっくり木炭が出来上が  
る。灰にならないよう、火の加減をす  
ることが大切だという。窯出しでは、  
まだ熱い窯の中から大量の木炭を取り  
出す作業に汗が光る。そうしてできた  
木炭は、「火持ちが良い」と、市外の  
事業者や個人からも好評だ。

地域からの依頼で手入れがなされて  
いない休耕地周辺の雑木などを伐採し  
て原料にしたり、川の水質改善を目的  
に木炭を川に投入したりと地域の環境  
美化にもつながっている。

平成19年にスタートし、今年で14年  
目を迎える同会。平均年齢も80歳と高



1 息の合った窯出し作業 2 出来上がった木炭  
3 小学生の体験学習の講師も務める

齢化している。大変な作業ながらも、  
「楽しむのが一番。特に年に一回の忘  
年会を楽しみにがんばって」と和気あ  
いあいと笑う。  
新和小学校の炭焼き体験の講師とな  
るなど、次の世代への継承も行ってい  
る。彼らだからこそできる方法で、地  
域に貢献する。もちろん、その原動力  
は「楽しむ」ことなのだろう。

天草 見どころ図鑑



▲小森海岸（牛深町）



▲約1カ月の堆積で  
できた地層

小森海岸には約4,500万年  
前の潮の満ち引きが記録され  
た“潮汐堆積物”の地層があ  
ります。しま模様の1つひと  
つが1回の干満でき、大潮  
で砂が多く運ばれた期間と小  
潮で泥が堆積した期間が分か  
ります。砂は固く、泥は柔ら  
かい岩となり、それらが地殻  
変動で地表に露出し、現在の  
凹凸状になっています。

★見どころポイント

堤防からはルリスズメダイなど  
の熱帯魚を見ることができます。